

常緑・落葉果樹病害虫研究会プログラム

I タイムテーブル

分科会等の開催時間と場所

分科会等名称	開催日時	2月4日(火)		2月5日(水)	
		午前	午後	午前	午後
開会挨拶	2月4日 9:50 ~ 10:00	【公開】 ↔ 中ホール 300			
1. 病害分科会	2月4日 10:00 ~ 12:30 (話題提供)	【公開】 ↔ 大会議室 101			
	2月4日 14:00 ~ 17:00 2月5日 9:00 ~ 12:00 (常緑・成績検討)		【非公開】 ↔ 中会議室 201A	↔	
	2月4日 14:00 ~ 17:00 2月5日 9:00 ~ 12:00 (落葉・成績検討)		【非公開】 ↔ 中会議室 201B	↔	
2. 虫害分科会	2月4日 10:00 ~ 17:00 2月5日 9:00 ~ 12:00 (課題発表・検討)		【公開】 ↔ 大会議室 102	↔	
3. カンキツグリーン 病分科会	2月5日 13:30 ~ 15:30 (話題提供)				【公開】 ↔ 小会議室 405

注1) 冒頭の開会挨拶は、並行して開催される「落葉果樹研究会」及び「果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）」との合同です。

注2) 果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）との合同交流会（会費5,000円）を、2月4日（火）18:00より、つくば国際会議場1F多目的ホールにて開催します。

注3) 【非公開】の会議の参加者は、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関の研究者、農林水産省の関係者及び主催者が認める者に限ります。

II 分科会等の内容

1. 病害分科会「果樹細菌病害の最近の研究成果と今後の課題」

令和2年2月4日(火) 10:00~12:30【公開(以下の話題を提供)】

令和2年2月4日(火) 14:00~17:00【非公開(成績検討)】

令和2年2月5日(水) 9:00~12:00【非公開(成績検討)】

【趣旨】

近年の気象条件の変動、品種の変遷、さらに新たな病原菌系統の発生により果樹における細菌病の問題がクローズアップされている。細菌病に対しては防除資材が限られていることから、総合的な対策が必要である。これに対して、最近、果樹細菌病を対象とするプロジェクト研究がいくつか取り組まれたが、短期の試験のみで抜本的な解決をはかることも困難である。そこで分科会では、新しい研究成果を広く関係者に紹介するとともに、残された課題等を共有して、今後の方向性を議論する。

【話題提供】

1. 福島県におけるモモせん孔細菌病の総合防除対策(仮称)
福島県農業総合センター果樹研究所 七海 隆之
2. モモせん孔細菌病における越冬伝染源量の低減に向けた課題
長野県果樹試験場 江口 直樹
3. 福岡県におけるキウイフルーツかいよう病の発生と防除対策
福岡県農林業総合試験場 菊原 賢次
4. キウイフルーツ産地の維持に向けた愛媛県のかいよう病防除対策
愛媛県農林水産研究所果樹研究センター 青野 光男
5. レモン・ブンタン類に対するカンキツかいよう病抵抗性程度の評価
農研機構果樹茶業研究部門 富村 健太

※病害分科会のうち【公開】の会議では、ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。話題提供者には、資料の作成と提出について下記のものより別途連絡いたします。

※話題提供の課題名及び演者は、変更となる場合があります。

※非公開の成績検討会に使用する資料は、別途連絡の「令和元年度果樹茶業試験研究成績概要集の原稿の作成・提出及び配付申込要領」にしたがって作成・提出して下さい。E-mailで農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室推進チーム (kikaku-fruit07@naro.affrc.go.jp) まで提出して下さい。原稿の提出期限は、令和2年1月9日(木)です。

※非公開の成績検討会の参加者は、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関の研究者、農林水産省の関係者、主催者が認める者に限ります。この成績検討会では、機関ごとに発表していただき、討議を行います。なお、資料は下記の者よりPDFファイルとして事前に送付しますので、当日ご持参下さい。

(病害分科会問合せ先)

〒739-2494 広島県東広島市安芸津町三津 301-2

農研機構果樹茶業研究部門ドウ・カキ研究領域 須崎 浩一

E-mail: kaju-byougai@ml.affrc.go.jp TEL: 0846-45-4756

2. 虫害分科会「最近の果樹害虫の発生と研究動向」

令和2年2月4日(火) 10:00~17:00【公開】

令和2年2月5日(水) 9:00~12:00【公開】

【趣旨】

近年は台風の直撃や集中豪雨など気象災害が多発し、適期防除が困難になることが多くなった。さらに栽培体系や殺虫剤の変遷、侵入害虫による被害の拡大も懸念されている。このような状況を打破すべく、果樹害虫を適期かつ効率的に防除するための技術開発が進められている。本年度の常緑・落葉果樹研究会(虫害分科会)では、重点検討テーマとして防除が困難な場面が散見される美肌に問うの微小害虫を取り上げる。また、最近の果樹害虫の発生動向やその対応への取り組みについても各県から話題を募り、全国規模で情報交換を行うことで、果樹害虫防除に関する新たな問題点などの情報を共有するとともに、その解決方法についても意見交換を行う。

【検討事項】

1) 重点検討テーマ「ハダニ等微小害虫の生態と防除対策」

果樹の新梢や葉、果実表面に寄生して樹勢の低下や果実の品質低下を招くハダニやフシダニ、アザミウマ等の「微小害虫」は防除が困難な害虫として被害削減と防除対策が課題である。微小害虫には殺虫剤抵抗性が顕在化した種が多く、抵抗性管理を考慮した化学的防除体系の構築や土着天敵を含めた天敵類による密度低減技術の現地導入も進められている。さらに政府が推進する輸出力強化戦略のもと、輸出入検疫の対象害虫としての重要性も近年顕重要になっている。今年度の重点検討テーマでは、これら微小害虫類の生態と防除対策について各機関から話題を募集し、情報交換を行う。

2) 各県等における最近の課題

令和元年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる課題を広く募集する。

また、本分科会では、特別講演として長年果樹害虫の研究に携わってこられた元果樹試験場虫害研究室長の高木一夫氏に「寄生蜂類の見分け方」をご紹介いただく。

特別講演

「寄生蜂類の見分け方 ～果樹害虫の寄生蜂を中心に～」(仮)

元果樹試験場虫害研究室長 高木 一夫 氏

【発表課題の募集について】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1課題あたり重点検討テーマが20分、その他の発表は15分程度を予定しています。申し込み者が多数の場合には、発表時間や発表者数を調整させていただきますので予めご了承下さい。
- 2) 「各県等における最近の課題」では内容は特に指定いたしません。各研究機関で重点的に取り組んでいること、新規に発生が認められた害虫、最近増加してきた害虫、防除等での対応に苦慮している害虫、新しい防除技術等々、果樹害虫について情報交換・意見交換をしたいことであれば何でも結構です。重点検討テーマとあわせ、こちらについても多数の応募を歓迎します。
- 3) 発表を希望される方は、別紙3の「虫害「情報交換」課題発表申込書」に必要事項を記入のうえ、E-mailで農研機構果樹茶業研究部門生産・流通研究領域 三代浩二 (raku-tyugai@naro.affrc.go.jp) までお送り下さい。資料の提出期限は令和元年12月25日(水)です。

※虫害分科会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

※別紙3の課題発表申込書は以下のURLからダウンロードして利用可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

(虫害分科会問合せ先)

〒305-8605 茨城県つくば市藤本 2-1

農研機構果樹茶業研究部門生産・流通研究領域 三代 浩二

E-mail: raku-tyugai@naro.affrc.go.jp TEL: 029-838-6548

3. カンキツグリーニング病および類似病分科会 「日本をとりまく越境性果樹病害の現状と研究動向」

令和2年2月5日(水) 13:30~15:30【公開(以下の話題を提供)】

【趣旨】

カンキツグリーニング病分科会では、これまでカンキツグリーニング病に関する世界情勢や国内現場での取り組みを紹介するとともに、新技術の知見や研究動向について広く情報提供を行ってきた。カンキツグリーニング病は日本国内での発生地が縮小している中、世界では益々発生地が広がっており、世界的なカンキツ産業への影響が懸念されている。また、近年、人や物の移動のグローバル化や気候変動の影響により、カンキツグリーニング病に限らず多くの越境性病害虫の被害が顕在化しており、とりわけ果樹産業への影響が深刻化している。このことは、G20農業大臣会合やG20首席農業研究者会議でもテーマの一つに挙げられていた。そこで本分科会では、カンキツグリーニング病および類似の越境性果樹病害について、最新の知見や研究動向について紹介し、今後の国内で行う対策や研究について議論したい。

【話題提供】

- 1) G20MACS「越境性植物病害虫ワークショップ」の概要報告

東京農業大学農学部 岩波 徹

- 2) 越境性病害をめぐる国際研究の動向について

- ・カンキツスタボーン病病原菌 *Spiroplasma citri* の検査手法に関する国際比較試験の報告
- ・ブドウピアース病 *Xylella fastidiosa* の国際研究に関する動向報告

農研機構果樹茶業研究部門 藤川 貴史

- 3) AI やドローンを活用した新しいカンキツグリーニング病研究について(イノベ事業の概要紹介)

農研機構九州沖縄農業研究センター 藤原 和樹

※カンキツグリーニング病および類似病分科会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。話題提供者には、資料の作成と提出について下記の者より別途連絡いたします。

※話題提供の課題名及び演者は変更となる場合があります。

(カンキツグリーニング病および類似病分科会問合せ先)

〒305-8605 茨城県つくば市藤本 2-1

農研機構果樹茶業研究部門生産・流通研究領域 藤川 貴史

E-mail: kaju-byougai@ml.affrc.go.jp TEL:029-838-6544